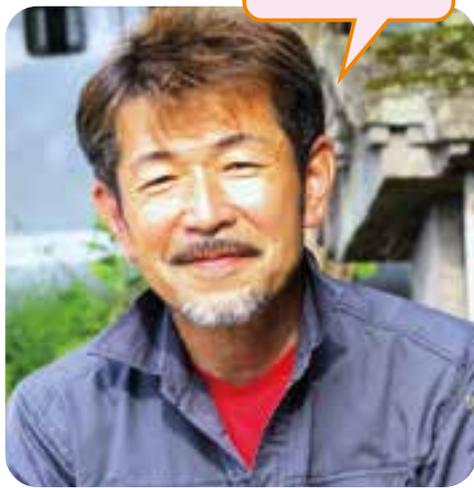


中山ブランドを作りたいですね。



沼澤 秀樹 さん (中山地区)

輝く地域の力 白鷹の未来を彩る

桂わさび栽培 ～ なかやまベース



… 発信したい地域の魅力 …

なかやまベースの沼澤さんにお話を伺いました。

どんな仲間ですか

20～50代の男女合わせて約10名です。中山に住んでいる人が中心ですね。ほぼ毎週みんなが集まってきて、何かしらの作業をしています。

活動のきっかけは

中山も人が少なくなり若者も少なくなる中で、何か楽しいことができないかと思い。まずは、「やってみっぺ」

から始まりました。

どんな活動ですか

中山には、有名な桂清水というきれいな湧き水があります。それを活用して何かできないかと思い、ワサビ栽培を昨年より始めました。自分たちで調べて

試行錯誤しながら、山形新聞にも取り上げて

いただきました。でも

収穫まで3年もかかるので、2年半後の収穫

を楽しみにしています。

今年、ワサビを春に植え付けをして、秋

にも植える予定です。

餅米も栽培しています。

お正月に中山の高齢の方々に鏡餅にして

配ってみたいという発想からです。

心がけていることは

集まることは特に決

めていないんです。来られる人ができることを

やっていける感じですね。みんな忙しいので、無理なく楽しめる範囲

で協力してもらっています。

実はリーダーがいな

いんです。自分はたまにたまワサビの言い出しっぺなので中心になつていますが、餅米はまた別な(言い出した)人が中心です(笑)。

楽しみなことは

楽しみはこれからだ

と思つています。地元

から生産できる、形に

できることが楽しみで

す。中山地区の方々から

の理解と協力もあるので、

何とかが形にしたい

ですね。

今後の目標は

中山ブランドをつ

りたいですね。中山に

行くといろいろ楽しめると

いうものをつくりたい。今も族(まがし)があり、県外から中山



きれいな湧き水が決め手

お酒なんかもやってみたいと仲間内で話しています。

議会へひとこと

こういう所で何かをやるうとか、わざわざ来てくれた人達の考えを拾って、声を市政に届けてほしいですね。

取材を終えて

前回の取材でもそうでしたが、「無理なく楽しく続ける」がキーワードのように思います。そして地域の理解と協力が重要であることも改めて感じたところです。(竹田)

編集後記



本号から、編集長を拜命いたしました。

今までの歴史を大事にしながらも、新たな発想を取り入れ、広報委員一同一致団結し、紙面づくりに挑戦していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

これから暑い日々が続きます。コロナ対策・熱中症などさまざまな対策を講じて過ごさなくてはならない日常ですが、ワクチン接種が順調に進み、以前のようない日常が来ることを切に望みます。(金田)

広報委員

- 委員長 原 俊一
- 副委員長・編集長 金 田 悟
- 委員 丸 川 雅 春
- 委員 竹 田 雅 彦
- 委員 横 山 和 浩
- 印刷・長谷川印刷

